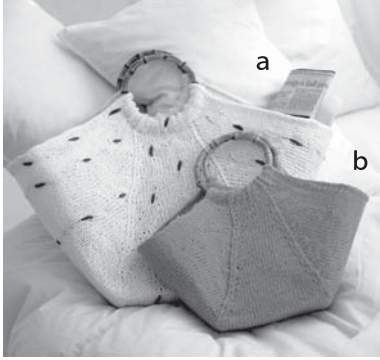


# 09-a.ハードバスケット

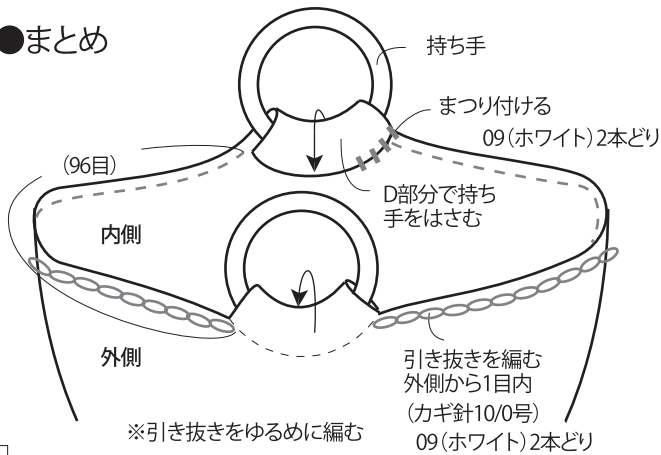


- 用意する毛糸(商品番号一色番号/商品名/数量)  
Z483-09/HEAT+(ヒートプラス)(40gコーン巻)/250g  
Z483-04/08/HEAT+(ヒートプラス)(40gコーン巻)/各25g
- 使用針・用具  
2本棒針 15号、カギ針10/0号  
持ち手・・・直径13cm竹製、厚紙11cm×22cm
- 出来上り寸法  
編み図参照
- ゲージ(10cm平方)  
メリヤス編み 16目×21段(スチーム後)  
メリヤス編み 14目×17段(スチーム前)

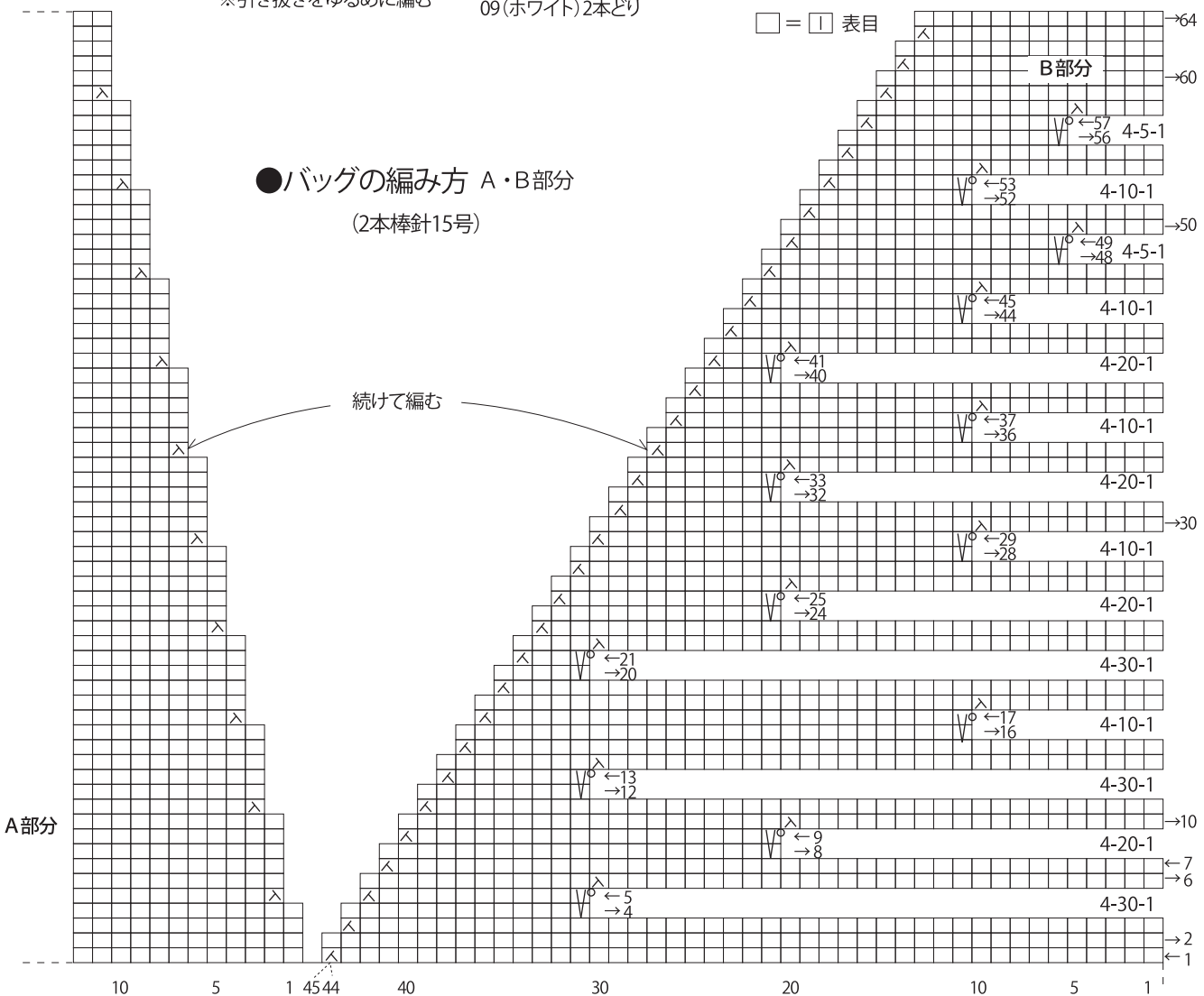
## ●編み方ポイント

バッグ・・・別鎖の裏山を拾う作り目を作り、メリヤス編みで底・マチから編みます。A部分は両脇で1目立てる減目をし、B・C部分は1目立てる減目と引き返し編みで編みます。A・B・C部分は続けて編みます。引き続きD部分を編み、ゆるめに伏せ止めをします。別鎖を解いて目を拾い反対側も同じように編みます。  
 まとめ・・・B・C部分とマチの脇の1目中にカギ針で引き抜きを編みます。col.04と08でステッチを入れます。持ち手をD部分にはさみ、図のようにD部分の1段めにまつり付けます。  
 スチーム・・・底のサイズの厚紙(段ボール紙)を内側にあて、外側からスチームをあてます。底の形に糸が固まってからA・B・C部分の内側からスチームをかけます。持ち手のD部分も形を整えて両側にスチームをかけます。  
 ※バッグ本体はすべて2本どりで編みます。ステッチは6本どりで刺します。  
 ※スチームをかけると糸は縮んで固まります。部分によって縮み方が違う場合がありますが型を整えてスチームをかけて下さい。スチームで火傷をしないように気を付けて下さい。

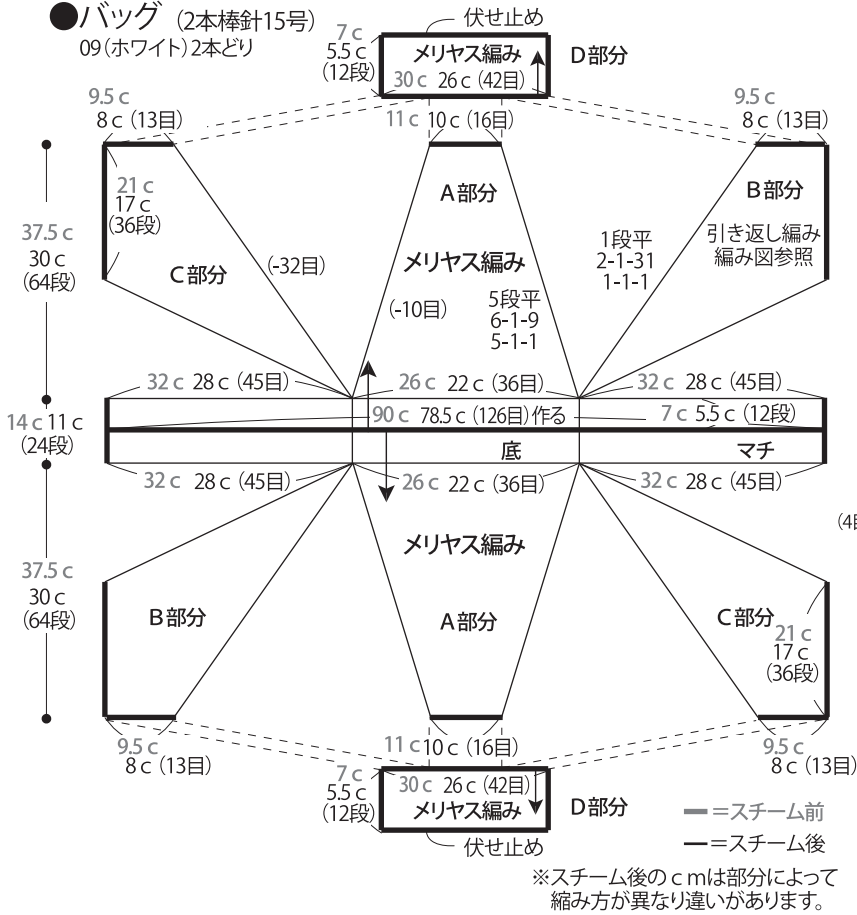
## ●まとめ



## ●バッグの編み方 A・B部分 (2本棒針15号)



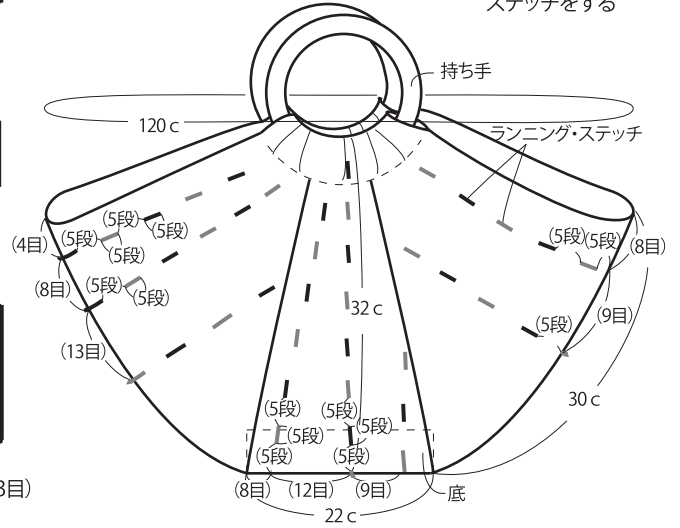
● バッグ (2本棒針15号)  
09(ホワイト)2本どり



● 出来上がり

— = 04(レモンイエロー) } 6本どり  
— = 08(ダークグレー)

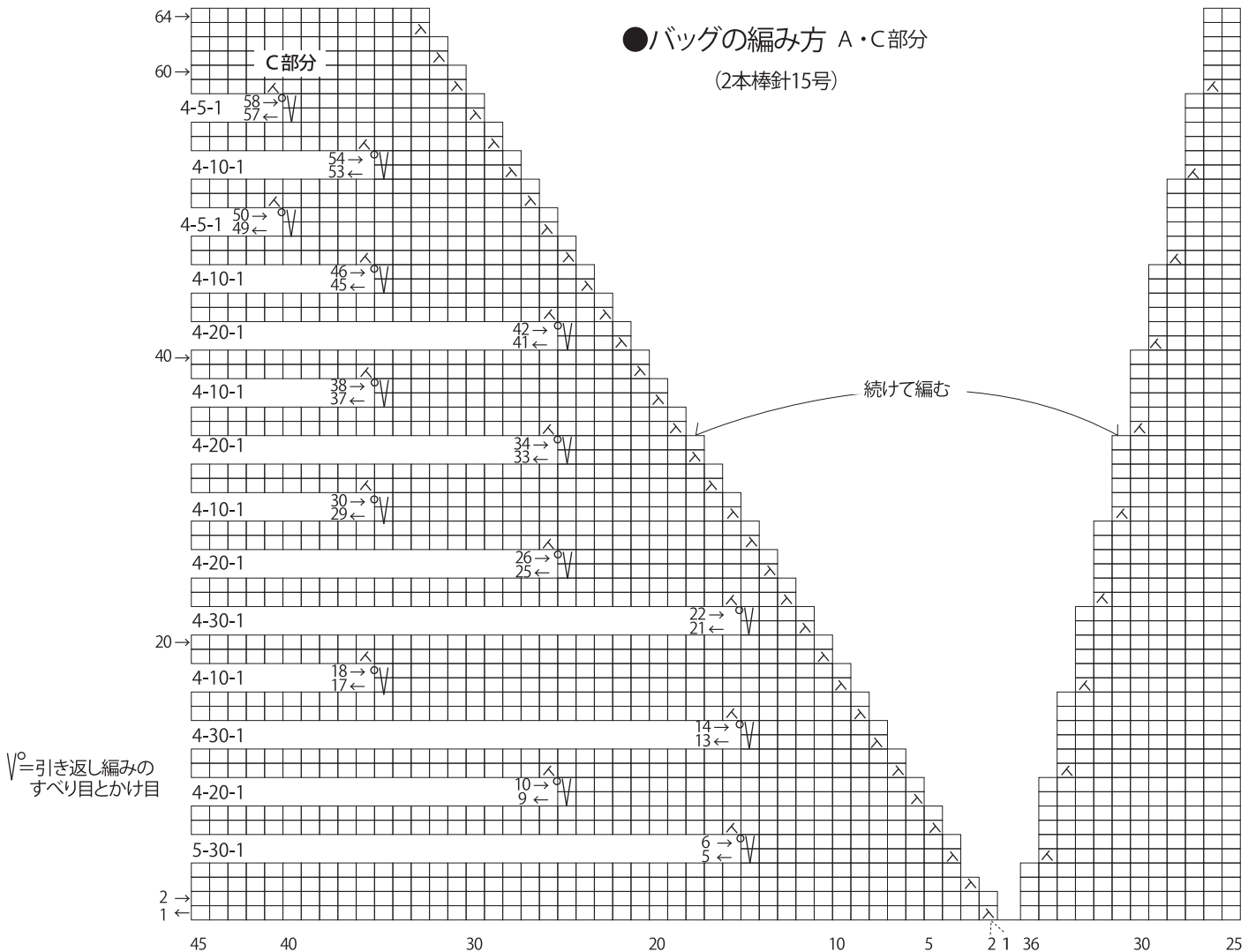
目と目の間に針を出してステッチをする



※ステッチの配置や数は好みで入れて下さい。

※スチームの縮み方に違いがあります。

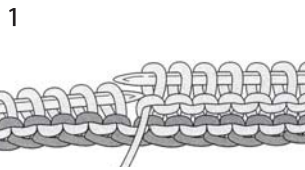
● バッグの編み方 A・C部分  
(2本棒針15号)



# ●ハードバスケットの引き返し編み

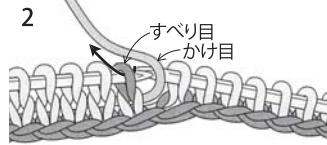
## 【右側】

(裏から編む段)

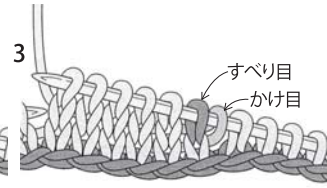


左針に引き返し編み分を残します。

(表から編む段)

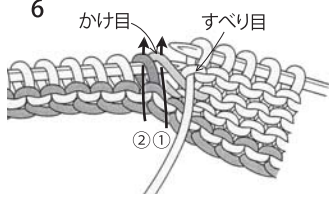


編み地を持ち替えて、糸が向こう側に行くようにかけ目をし、左針の1目をすべらせて(すべり目)右針に移します。

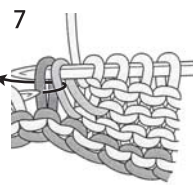


次の目からは表目で編みます。

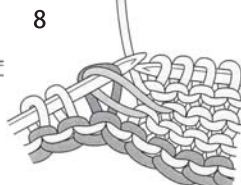
(裏から編む段)



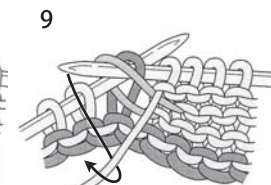
引き返し編みをしたところの2目を入れ替えます。  
①・②の順に右針に移します。



右針に移した2目に矢印のように左針を入れて戻します。



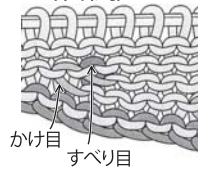
2目を左針に戻したところ です。



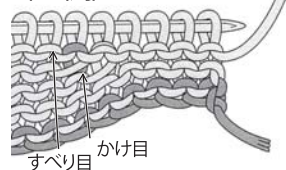
一緒に裏目で編み、そのまま編み進めます。

## 裏から見た出来上がり

(右側)



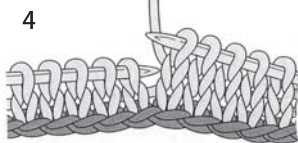
(左側)



すべり目とかげ目です。かけ目部分は裏側に出来ます。

## 【左側】

(表から編む段)



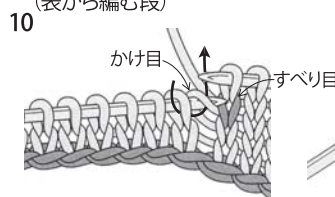
左針に引き返し編み分を残します。

(裏から編む段)

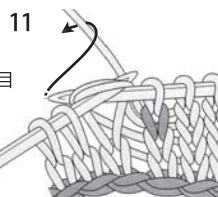


編み地を持ち替えて、糸が手前になるようにかげ目をし、左針の1目をすべらせて(すべり目)右針に移します。続けて裏目で編みます。

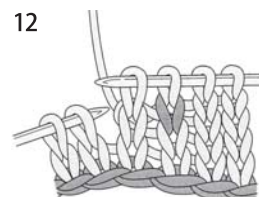
(表から編む段)



編み地を持ち替えて編み、左側の引き返し編みをしたすべり目を編みます。



かけ目と次の目を一緒に編みます。

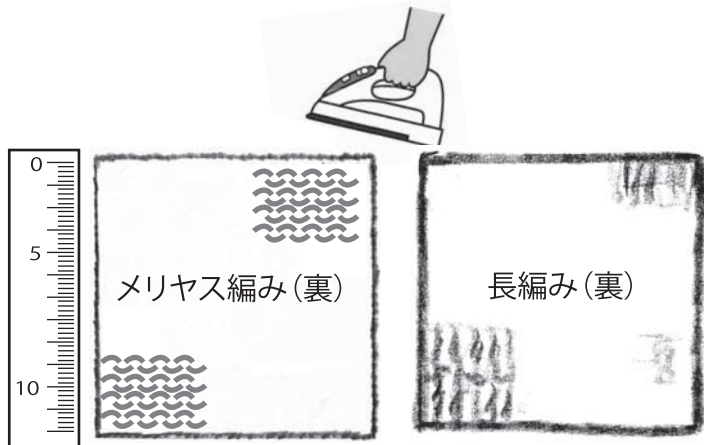


編んだところ です。1~11をくり返します。

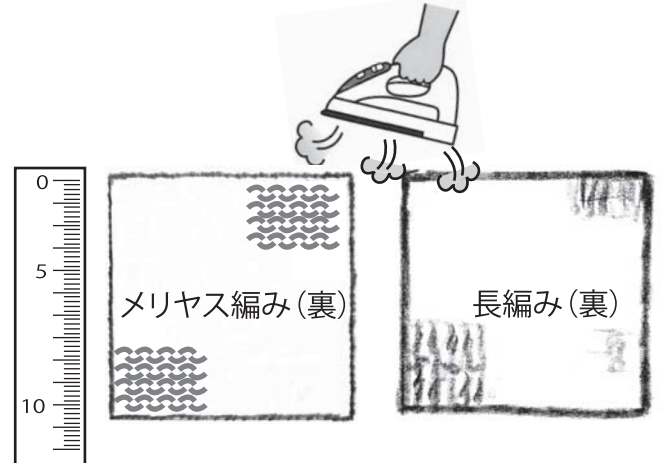
# — HEAT + (ヒートプラス)の固め方(アイロンのかけ方) —

●編み地にアイロンをドライでかかれます。  
(スチームは出しません。)

●アイロンを少し浮かしてスチームをしっかりとかけます。

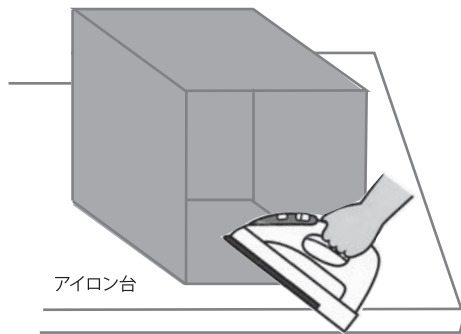


平らな編み地はまっすぐに置きアイロンで整えます。  
そろってない時は編み地を引っ張れば直せます。  
※アイロンの温度は中でかけます。



編み地はこれでしっかりと固まり、1割弱縮みます。  
(縮み具合は編み目、模様で異なります。)

## ●四角形や丸い物のアイロンのかけ方

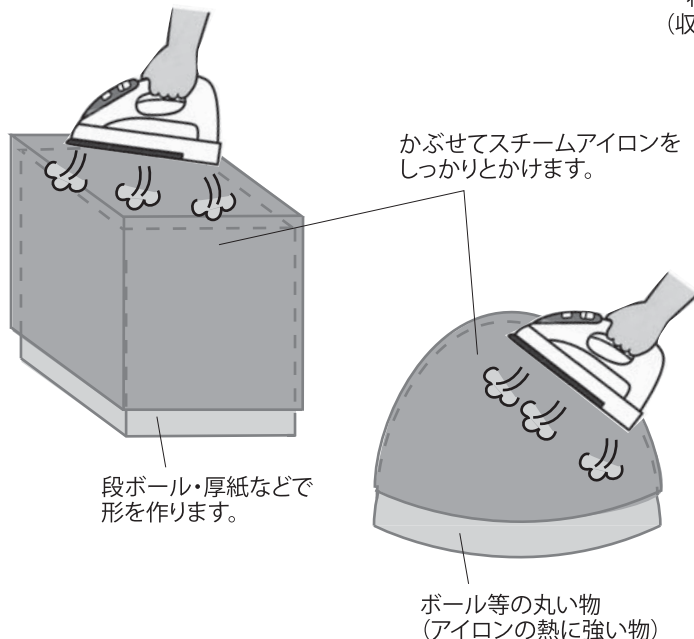


平らな部分でかけれる所のみ、  
アイロンで整えます。  
作品により最初からスチームを  
出してかける場合もあります。



※編み地の硬さ加減  
はスチームアイロン  
のかけ方で調節して  
ください。  
スチームの出る温度は  
アイロンの設定で  
中～高と異なります。

※アイロンをかける場合、タオル等の毛羽だった  
布は使わない様にします。  
(収縮率が弱くなったり、毛羽が付く場合があります。)



★ゲージは編み手により異なります。ゲージが合わない場合は、針の号数を変えて編んでください。又はゲージを取り直して編んでください。